

戸塚駅西口第3地区の市有地活用事業方針（案）の意見募集結果について

1 経緯

平成25年3月8日に、戸塚駅西口第3地区の地元代表者を中心とした附属機関「横浜市戸塚駅西口第3地区市有地活用検討会議」から提言書が提出された。その提言書を基に、平成25年8月に民間事業者との対話を実施し、その結果を踏まえ作成した事業方針（案）（都市整備局市街地整備推進課 HP 参照）について、アンケート（意見募集）を行った。

2 アンケートの全体像

平成26年2月1日から2月28日までの間で、広報よこはま戸塚版、都市整備局 HP にて募集を実施するとともに、地区関係者についてはチラシを配布し（170通）、47通の回答を得た。

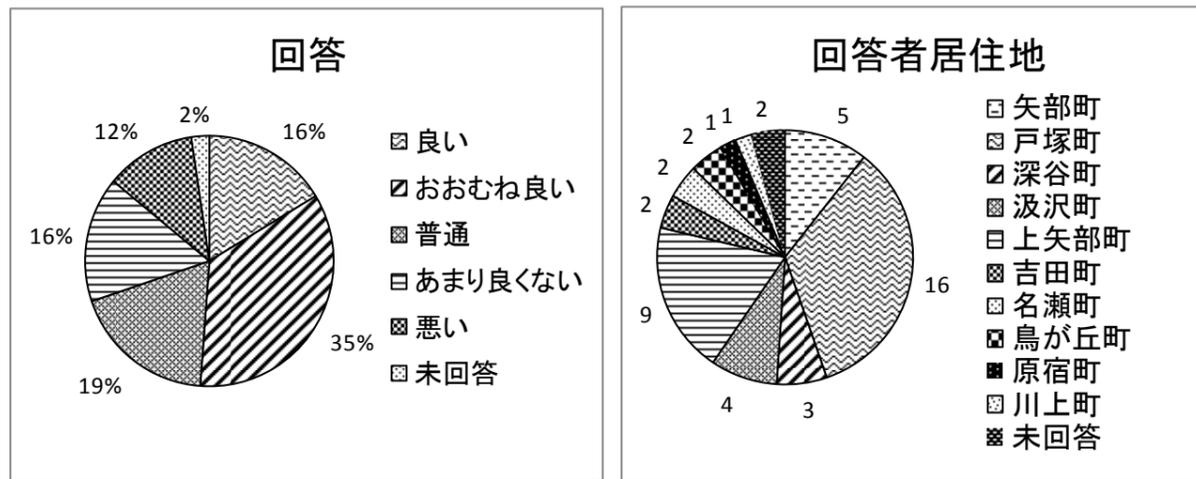
これまで、事業についての意見募集を何度か実施しており、前回は220件の回答があった。今回はこの回答数を大きく下回る結果となったが、半数はこの事業に肯定的であり、「普通」と回答された方の数を加えると、7割に達する。このことから、当該事業についての認知度が高まり、事業に対する理解が進み、回答数が減少してきたものと推察される。

3 結果の考察

(1) 質問1（事業方針（案）への評価）・質問3（居住区等の調査）

47通の回答が寄せられ、質問1への回答数は43であった。そのうち、「良い」、「おおむね良い」が53.5%となり、「普通」を入れると71.4%となり、事業方針に対して肯定的であることが解る

回答数は45であり、1名を除いて（戸塚駅利用、在勤）全ての方が戸塚区在住者であり、内訳としては、戸塚町が16名、上矢部町が9名、矢部町が5名、汲沢町が4名、深谷町が3名、吉田町、名瀬町、鳥が丘町が各2名、原宿町、川上町が各1名である。



「良い」「おおむね良い」の理由

- 交通、公共施設の集積、駅に近接したことを活かす
- 駅に近い商業施設の設置
- 交流・コミュニティスペースとしての活用、特にカフェ（交流空間）の設置
- 街の活気に貢献

「あまり良くない」「悪い」の理由

- コミュニティ施設は利用されていない、悪く利用されている
- 成長戦略をかかげるべき
- これまでの意見が一边倒
- これまでの事業経過の不満、事業費の不満（第1地区）

(2) 質問2（意見・要望）

全体としては、子育て施設、交流施設の要望が大半を占める。質問1に対して28.6%の方が「あまり良くない」、「悪い」という評価をされているが、その方々の質問2に対する回答の内容を見ると、実はその要望の多数は事業方針（案）が目標としている内容と同一であることが解る。具体的には、映画館等の商業施設、とっこの芽等の子育て支援施設や交流の場を求める声や、子どもの遊び場としての公園の要望等であった。その他の意見として、ハローワークや税務署（駅から遠くて不便）の要望があった。

☆ アンケートの主な意見

「良い」「おおむね良い」の要望・自由意見 ⇨ ○ 「あまり良くない」「悪い」の要望・自由意見 ⇨ ●

評価	要望・自由意見	評価判断理由
事業方針（案）に合致し可能性が高い意見	○子育て世代のコミュニティ ○大型店の出店 ○若いファミリー世代に住みよい街 ○小児科 ○フリースペース ○ショッピングモール ○ファミレスや回転ずし ○緑がある商業施設 ○フードコート ○一時駐輪場 ○映画館 ●母親世代の交流の場 ●子育て支援 ●映画館 ●カラオケ ●カフェ、レストラン ●子供の遊び場、母親が交流できる場	事業方針（案）に合致し、事業性が認められる
事業方針（案）に逸脱はしないが可能性が低い意見	○ベビーカーが入ることのできるゆとりスペース ○トツカーナとのデッキの接続 ●無料の子育て施設 ○若者から高齢者まで利用できる施設 ○子育て世代とシニアの場 ●B1 グランプリ	事業性の問題が大きい 若者、子育て世代を呼び込む商業施設の設置を重視しているため 施設提案ではなく運営の提案となることから、全体の提案内容による
事業方針（案）に逸脱し可能性が低い意見	○高齢化社会への対応 ○グループホーム ●若者、高齢者にあてはまらない中間層に対する施設 ○ログハウス ●アスレチック施設	若者、子育て世代を呼び込む商業施設の設置を重視しているため 敷地規模が小さいことと、商業施設の設置を重視しているため
事業方針（案）に逸脱し可能性がない意見	○認可保育園 ○●多目的ホール（200～300㎡） ○公園 ●ハローワーク ●税務署 ●図書館 ●道の駅	周囲の店舗に新たな規制を生むため 200～300㎡の規模では事業者からの提案が期待できないため 設置者の意向を確認済み